

こんにちは 森林官です！



渡島森林管理署 今金森林事務所

首席森林官 山崎 浩

【今金森林事務所の概要】

今金森林事務所は、平成13年に事務所を移転し、白石森林事務所との合同森林事務所として運営しています。管轄する国有林面積は、今金担当区と美利河担当区を合わせた約21,240ha、白石担当区の約5,410ha、3担当区の合計は約26,650haとなります。この広大な国有林を係員と首席森林官の2名体制で管理しています。



【地域の紹介】

今金森林事務所が所在する今金町は、道南の渡島半島北部に位置し、南はユーラップ山系を挟んで八雲町、北は狩場山系を介して島牧村、東は低い山地を経て長万部町、西はせたな町と接しており、道南地域では珍しく海岸線がなく、周辺を山並みに囲まれた農村地帯です。

今金町の中心部には、全国最多となる24回の選出を誇る「水質が最も良好な河川」後志利別川が流れています。この川による肥沃な土壌と、周囲を山並みに囲まれた内陸性気候を活かし、今金町は道南随一の「農業のまち」として発展し、品質の高い農産物の産地として知られています。

特に有名なのは男爵いもで、「今金男爵」の名で全国にブランド化され、その味と品質は日本一との評判です。入手困難なことから「幻のいも」とも呼ばれています。

【森林事務所の業務】

主な業務は、林野巡視をはじめ、森林現状把握のための地林況調査、国有林と民有林の境界管理、豪雨や融雪による林道の被災状況確認などの林道点検、造林・製品生産・立木販売などの各種請負事業の監督業務など、多岐にわたる現場業務が中心です。

管轄する国有林には「レクリエーションの森」として、美利河・二股自然休養林及び美利河スキーフィールド野外スポーツ地域があります。

特に美利河スキーフィールドは、山頂から羊蹄山を遠望でき、パウダースノーを踏みしめながら滑り降りる爽快感が格別なスキーフィールドとして、多くの人に親しまれています。



【最後に】

当地域の冬は非常に厳しいため、現場での安全活動や日々の体調管理に注意しながら業務に取り組み、春を迎えることを願っています。